

日本代表として精いっぱい頑張ります



3月9日、鏡浦中学校でたった一人の卒業式がありました。卒業したのは、細木仁美さん。式では、校長先生から「仁美さんの思いやりと努力という財産をこれからも磨いていってください」と激励を受けた後、17人の在校生一人ひとりからお祝いの言葉が贈られました。

細木さんは「みんなが支えてくれました。この学校に入って本当によかったです。高校へ進学しても頑張りたい」と抱負を語り、在校生や出席者に見送られて母校を巣立ちました。



3月6～7日に東京で開催された「第14回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」で、鳥羽・ジュニアレスリングクラブの小林聖弥くん（加茂小6年）が男子6年生の部51kg級で優勝、植村五輪くん（鏡浦小5年）が男子5年生の部34kg級で準優勝し、3月16日、市役所を訪れました。

市長は、二人の健闘をたたえ、「これからもスポーツを楽しみ、強く優しい人に成長してくれることを期待しています」と、お祝いの言葉を掛けました。

思い出胸に一人だけの卒業式



4月にアゼルバイジャンで開かれる2010世界ジュニア・カデ選手権大会のジュニアフルーレ女子の部に、日本代表選手として出場する山田あゆみさん（鳥羽高校2年）が、2月25日、市役所を訪れ、市長に出場の報告をしました。

山田さんは、第17回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会で準優勝し、日本代表の座を獲得しました。

市長は、「良い思い出になるよう、力いっぱい頑張ってきてください」と激励し、山田さんは「自分の力を出し切って精いっぱい頑張ります」と豊富を語りました。

練習の成果が実を結びました



3月14日、鳥羽国際交流ボランティアの会が主催するKOKUSAI KIDS CLUBが、発表会を開きました。

クラブには、離島の2校をはじめ市内全域の小学3年生から6年生47人が参加して、毎月第2・第4土曜日に英語やダンス、凧などの作品作り、パソコンなどを学んできました。

発表会では、こどもたちが、リズムに乗って元気よくダンスをしたり、外国人の先生の質問に素晴らしい発音で答えたたりして、1年間の成果を披露しました。

皆勤賞の一人、上村穂波さん（弘道小3年）は、「友だちもたくさんできたり、いろいろなことができて楽しかったです」と話してくれました。

いのんごとにチャレンジしたよ！